

なつやすみにおすすめのほん

2024年7月和光市図書館



わこうしとしょかん しょくいん えら なつやす よ ほん しょうかい
和光市図書館の職員が選んだ「夏休みに読んでほしい本」を紹介します。

ようじ しょうがく ねんせい ねんせい ねんせい
幼児むけ、小学1、2年生むけ、3、4年生むけ、5、6年生むけです。ぜひよんでみてください。

ようじ 幼児むけ



『ぞぞぞ』

もり あさこ / さく ぼぶらしゃ ねんはっこう ぶんるい いーあか
森 あさ子 / さく ポプラ社 2022年発行 分類 E ㊦

かいじゅう かみなりさま おばけなど、つぎつぎに でてくる
キャラクターたちが ほえたり ひかたり とびだしたり しま
す。そして さいごは だれが でてくるかな？ おやこで たのし
みながら よめる ゆかいな えほんです。



『ぱったんして』

まつだ ななこ / さく かどかわ ねんはっこう ぶんるい いーあか
松田 奈那子 / さく KADOKAWA 2021年発行 分類 E ㊦

はんぶんにおったかみの かたほうに、あかいえのぐで てんと
まるを かいて、ぱったんと として ひらいたら りんごが ぶた
つ できました。なないろの えのぐを ながーく つけて、ぱったん
と とじたら きれいな にじが かかったよ。なにが できるか
そうそうしながら たのしめる アートえほんです。

えほんの さいごに あそびかたの かいせつも ついています。



『ママ、ママ、おなかがいたいよ』

れみい しゃーりっぷ / ぶん・え ぼーとん さぶりー / ぶん
つばい いくみ / やく ぶくいかんしょてん ねんはっこう ぶんるい いーき
レミイ シャーリップ / ぶん・え パートン サブリー / ぶん
つばい いくみ / やく 福音館書店 2022年発行 分類 E ㊦

「おなかが いたいよ」と うったえる、おなかが ぱんぱんに
ふくらんだ こどもに ママは びっくり！ おいしゃさんが おな
かの なかを しらべてみると、いろいろな ものが つぎつぎに
でてきて おいしゃさんも びっくり！！

シルエットだけで かかれた くすっと わらえる おはなしです。



『すいぞくかんのおいしゃさん』

おおつか みか さいとう まき ぶくいんかんしよてん
大塚 美加 / ぶん 齋藤 槇 / え 福音館書店

ねんはっこう ぶんるい
2023年発行 分類 E 31

みなさんが かぜをひいたら おいしゃさんに 行くのと おなじように、すいぞくかんにも おいしゃさんが います。たいじゅうが たった2グラム しかない タツノオトシゴから、たいじゅうが1トンもある おお大きなジンベエザメまで！ この絵本では、タツノオトシゴや えほんジンベエザメのほかに、ぐったりとするエイや、つかまえられるくらいのはやさで およぎまわるイルカなども とうじょうします。すいぞくかんの おいしゃさんは、いったい どのように しんさつ、ちりょうを するのでしょうか。



『はじめてのキャンプ』

はやし あきこ ぶくいんかんしよてん ねんはっこう ぶんるい
林 明子 / さく・え 福音館書店 1984年発行 分類 913

なほちゃんは、ちっちゃな おんな女の子です。ある日、ともこおばさんのうちに あそびに行くのと、ともこおばさんは大きい子たちにキャンプのしおりをくばっていました。なほちゃんは、「わたしもキャンプに行きたい！」と言いました。みんなは、くち ちいこにはできないよ！」と言いますが、なほちゃんもみんなとおなじしおりをもらって、ついに、はじめてのキャンプに出かけます。

ぜひみなさんも、なほちゃんといっしょに、キャンプのドキドキやワクワクをたのしんでください。



『ねこのおひめさま』

げんさく たけした ふみこ ぶん はやし え しよぼう
グリム / 原作 竹下 文子 / 文 林 なつこ / 絵 あかね書房

ねんはっこう ぶんるい
2021年発行 分類 943ケ

ある日のこと、3人のわかものは、おやかたに「いちばんよいうまをつれてかえたものに、水車ごやをゆずろう」と言われました。

3人は、うまをさがすたびにでましたが、一ばん年下でぼんやりしているハンスは、もりの中で2人においていかれてしまいます。すると、小さなみけねこがハンスのところにやってきて、「7年はたらいてくれたら、すてきなうまを一つあげる」と言いました。ハンスがみけねこについていくと、ふるいおしろがあって、なかには、たくさんのねこがいました。ハンスはどうなるのでしょうか。



『釣って食べて調べる深海魚』

ひろさか ひろし ぶん 平坂 寛 / 文 キッチンミノル / 写真

ながしま ゆうせい え 福音館書店
長嶋 祐成 / 絵

2024年発行 分類 664

深海とは、海面から200メートルより深い海のことです。太陽の光も届かない真っ暗なところ。実は日本は、世界的に見ても深海に近い国で、岸から船で数十分で深海にたどり着ける場所がたくさんあります。この本では、たくさんの写真や絵とともに、いろいろな深海魚の生態や特徴を紹介しています。キンメダイ、アカムツ、アンコウなどは、脂がのって味が良い深海魚と言われているのですが、どうしておいしいのか、その理由もわかります。まだまだ謎が多い深海魚について、もっと知りたくなりますよ。

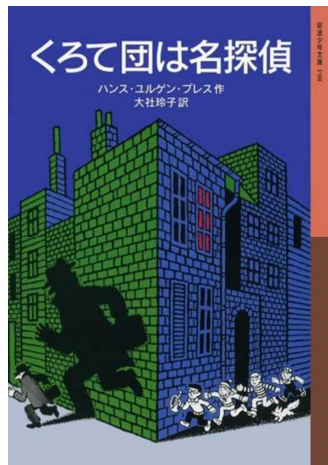


『おとな体験授業?』

なかがわ ちひろ / 作 アリス館 2023年発行 分類 913

きょうは、理科室で特別授業です。グループごとにどんな大人になりたいか話しあったら、それを紙に書いてピーカーの中の金色の液体に入れます。すると、もわもわとゆげが広がって、不思議なことが起こりました。マンガ家になりたいあすかはラーメン屋で、ラーメン屋になりたいりゅうじは美容院で仕事をしています。どうやら、みんなの希望がごちゃまぜになってしまったようです。クラスメイト5人は、自分が想像もしていなかった仕事をする事になってしまいました。

みなさんは、どんな大人になりたいですか？



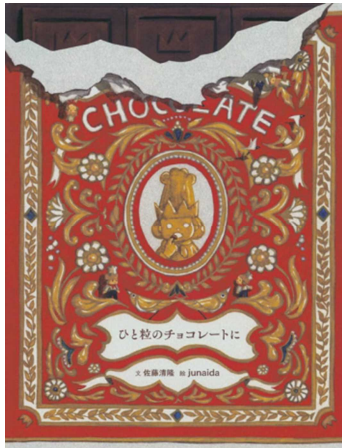
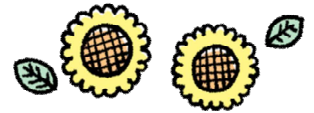
『くろて団は名探偵』

ハンス ユルゲン プレス / 作 大社 玲子 / 訳 岩波書店

2010年発行 分類 943

黒い手形が目印の「くろて団」は、警察にも一目置かれるほどの腕前を持つ子どもたちの名探偵グループです。男の子3人と、女の子1人とリス1匹で、4つの事件の犯人を追いつめていきます。

物語を読みながら、絵をじっくり見て、一緒になぞ解きを楽しみましょう。絵にかくされた謎を探すのは、大人でもなかなかむずかしいレベルです。おもしろいと思ったら、この作者の息子さんが書いた「くろグミ団」シリーズもぜひ読んでみてください。



つぶ
『ひと粒のチョコレートに』

さとう きよたか ぶん じゆないだ え ぶくいんかんしよてん ねんはつこう ぶんるい
佐藤 清隆/文 junaida/絵 福音館書店 2023年発行 分類 588

みんなが大好きなチョコレート。夏は、冷蔵庫で冷やしてパリパリにして食べるのもおいしいですね。手で割るとパリッと折れてかたいのに、口に入れるとすぐにとけて、おいしさが口いっぱいに広がります。この口どけの良さの秘密は、チョコレートがカカオという植物からとれる不思議な油でできていることにあります。

人類がカカオに出会ったのは今から1万5千年前。最初は飲み物として、その後はとても栄養のある食べ物として、炒ってすりつぶして口にされていました。そして17世紀前半にココアが発明され、そしてミルクが入っていないダークチョコレートが生まれます。その後たくさんの人々が試行錯誤を重ね、人類がカカオと出会ってから1万年近い時間をかけ、17世紀後半、ついに現在のような甘くて口どけの良いチョコレートが完成したのです。

この本には、チョコレートが誕生するまでの歴史や、チョコレートがどのように作られるかなど、チョコレートの秘密がたくさん詰まっています。

『アナタノキモチ』

やすだ かな ちよ ぶんけんしゆつぼん ねんはつこう ぶんるい
安田 夏菜/著 文研出版 2023年発行 分類 Y913



わたしが5才の夏、母親に置き去りにされた1つ年下の従兄弟のハルくん。それから一緒に住むことになったハルくんには自閉症という障害があって、人の気持ちがわからないといいます。

昔幼稚園の先生だった祖母がハルくんの面倒を見ていましたが、その祖母が倒れてからは、祖母も祖父も母も弟も、今まで心にためていた不満が爆発して、家族がバラバラになりそうになります。

でも、人の気持ちがわからないのはハルくんだけなのでしょうか？
私は？みんなは？どこまで「アナタノキモチ」をわかっているのか、わかろうとしているのか、考え直すきっかけになる本です。

YA（ヤングアダルト）コーナーにあります。小学生でもテンポよく読める本なので、ぜひ読んでみてください。



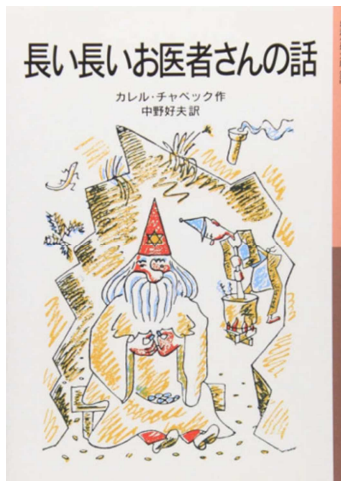
『さいごのゆうれい』

さいとう りん ちょ にしむら え ぶくいんかんしょてん ねんはつこう ぶんるい
斉藤 倫 / 著 西村 ツチカ / 画 福音館書店 2021年発行 分類 913

いま 今より「ちょっとだけ、未来」の〈大幸福じだい〉は、世界中が「こ
うかい」や「かなしみ」をわすれた、ふわふわと 幸せな時代でした。
そんな〈大幸福じだい〉のある夏休み、田舎の祖母の家に預けられた
小学5年生のハジメは、お盆の初日に、近くの飛行場でひとりの女の
子「ネム」と出会います。「ネム」はゆうれいの国から「お盆航空」に
乗ってきたゆうれいで、自分は「さいごのゆうれい」かもしれないと言
います。

ハジメとネム、〈絶滅存在保護機構〉のミャオ・ター、ゆうれいを
心配する托鉢僧のゲンゾウの4人で、消えてなくなりそうなゆうれい
な国を救いに行きます。

なぜゆうれいは絶滅寸前なのでしょうか？「こうかい」や「かなしみ」
をわすれた世界は本当に 幸せなのでしょうか？やさしい挿絵が、読む
人の想像を更に広げてくれます。



『長い長いお医者さんの話』

なが なが いしや はなし
カレル チャベック / 作 中野 好夫 / 訳 岩波書店
ねんはつこう ぶんるい
2000年発行 分類 989子

この本は、9つの童話が紹介されてる短編集です。

タイトルになっている「長い長いお医者さんの話」は、弟子を怒鳴
りつけようとしたらウメの実が喉につまり呼吸困難におちいった魔法
使いと、その治療に駆けつけるお医者さんたちの物語。

「長い長い郵便屋さんの話」は、手紙を触った時の温かさで送った
人の気持ちやその手紙の大切さがわかるという郵便局に住む小人と、
その小人が大切なものだという宛名と差出人が不明の手紙を1年かけ
て届ける郵便配達員の物語。

ほかの7つの物語も、妖精やカッパ、魔法使いなどが、現実の世界
に当たり前のよう現れる、まるで現実と夢が入り混じったような
不思議なお話です。

作者の兄、ヨセフ・チャベックが描く味のある挿絵にも注目してみ
てください。